

施設見学会：減災館での体験学習

見学会は、名古屋大学減災館減災連携センターの千葉特任助教と展示担当スタッフにより実施されました。床面の愛知県巨大地図を利用し、参加者は名古屋市内の主要施設をライトでマーキングをして位置関係を確認し、**プロジェクトマッピング技術**により南海トラフ地震が起こった際の震度分布や津波浸水域、液状化分布などが投影され、自宅や学校がどのような災害状況になるか知る機会となりました。

その後、2つのグループに分かれて、大きなモニターに映し出された「**今昔まっぷ**」の説明では、通っている小学校など昔はどんな街並みだったのか見ることができ、参加者の興味を惹きました。また減災館の免震層を見ることができる「**免震ギャラリー**」では、参加者は実際の積層ゴムやオイルダンパーなどを見て減災や免震に関する理解を深めることができ、参加者は減災館施設展示物から様々な体験を得ることができたと思います。

大学内では普段聞こえない子供たちの楽しい声が聞け、賑やかなで楽しい見学会でした。

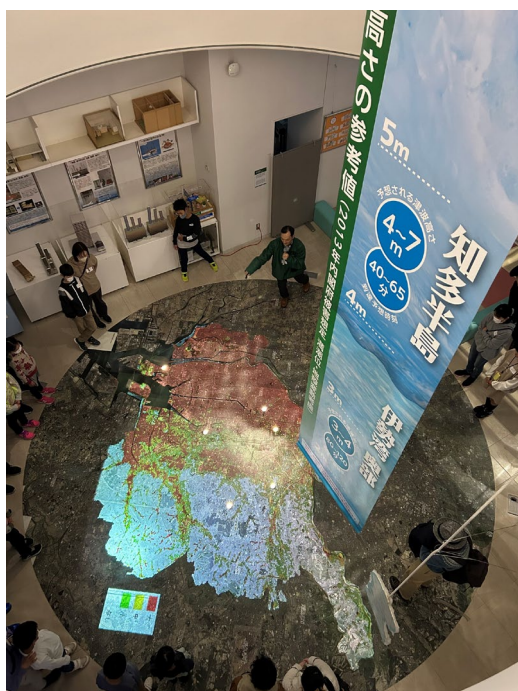


写真3 プロジェクションマッピングの様子

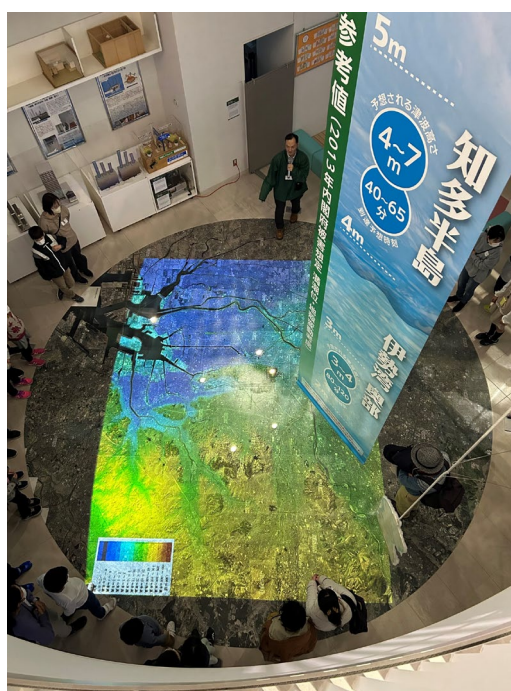


写真4 南海トラフ地震時の津波の様子



写真5 千葉特任助教による説明の様子



写真6 展示物「今昔まっぷ」説明の様子

まとめ

今回の技術セミナー・施設見学会は、多数の子ども達の参加により和気あいあいとしたイベントとなり、スタッフも楽しいイベントとなりました。今後も有益なイベント開催できる支部活動を行いたいと思います。

最後に年末のお忙しい時期にイベントにご協力頂いた全ての方へ感謝申し上げます。